

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立宮古工業学校
校長 知念 俊一郎
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月27日起案	場所	書面報告	出席状況	コロナ禍により開催中止、書面による報告とアンケート形式での実施
第2回	日時	令和4年12月19日	場所	校長室	出席状況	学校評議員3名参加、1名欠席
第3回	日時	令和5年3月15日	場所	校長室	出席状況	学校評議員4名参加

2 学校評議員に求めた事項

1学期はコロナ禍により対面開催が出来ずに書面での報告を行い、アンケート形式で意見等を求めた。2学期に改めて今年度の教育目標や学校経営方針とともに本校の抱える学校課題を共有し課題解決に向けての協力や意見を求めた。令和3年度から「恩返しプロジェクト」等を通して、地域の方々へ工業高校の教育活動を積極的に発信しており、生徒数も増加してきているが、未だ本校の優先課題は空き定員の解消である。今後も宮古地区の工業高として理解をしてもらえるよう本校の教育活動の発信を続けていく。また、入学した生徒達の資格取得や各種大会への参加とともに、令和4年度より教育相談を軸とした「生徒支援部」を発足させ、個々の生徒に合わせた教育活動・支援を推進している。これまでの本校の情報発信や生徒支援・進路指導体制についても、ぜひ評議員の方々のお力添えとご教示をを頂戴し、今後活かしていきたいと考えている。

3 学校評議員の意見

- ・おもちゃの修理や料理レシピなどの活動を行っていることがわからなかった。小中学生の生徒が工業高校では、どういことができるようになるか理解できるようアピールをもっとした方が良いと思います。
- ・(進路指導部に対して)保護者が集まる機会を作ったほうが良い。
- ・卒業生(就職先で継続して頑張っている)の声を聞ける場を設けてほしい。
- ・新聞報道で毎日のように報道されているので、今年度の志願者増につながっているのでは。資格試験等をもっとアピールすると更に受検者が増えるのでは。資格取得が工業高校の魅力であるので、次年度も力を入れてほしい。
- ・男子生徒が新聞に掲載されることが多いと感じる。女子生徒の取組や成果を発信する方法の工夫は必要かと思えます。

4 学校運営に反映した事項

- ・令和4年11月に、生活情報科がYouTubeを開設し、料理のレシピや調理の動画等の発信を開始。小中高生へのアピールとして大いに期待されている。
- ・次年度4月に新3年生保護者向け進路説明会を予定。保護者が学校に集まり、話し合う機会を設定した。
- ・年間を通して「恩返しプロジェクト」等で各科の取組を発信してきたが、「資格取得」についても同様に工業の魅力として力を入れていきたい。

5 課題その他

・令和3年度より、学校の広報活動を抜本的に改革し、生徒ができることを母校や地域へ恩返しすることで工業高校で学べることや身につける事ができる資格や技術を実際に見てもらい事に力点を置いた広報活動を行ってきた。その結果が志願者の増加、特に電気情報科の定員超えであると考えている。今後も更に推し進め、より理解してもらえるよう各種プロジェクトを進めていきたい。昨年に引き続き、部活動の活性化が課題である。合同チームによる出場などを余儀なくされている部もあり、部活動の活性化と職員の働き方改革をバランスを取りながら、学校の活性化を図っていく必要がある。教育相談を軸にした生徒指導を目指し、今年度より生徒指導部ではなく、「生徒支援部」として生徒達の支援・指導に当たっている。「サポートルーム」も開所し、生徒達が相談できる場所も整備した。今後は、生徒一人一人への親身な対応により、問題行動や不登校等の未然防止に取り組んでいく。離島勤務3年で職員が入れ替わるために引継ぎや知識、技術の定着を図ることも課題である。